

城南の風

編集・発行 城南地区まちづくり協議会総務部

篠山市小枕 城南コミュニティーセンター

TEL : 079-506-0955 FAX : 079-506-0956

ホームページ <http://www.jounan-sasayama.jp>

この会誌に記載の情報は城南まちづくり協議会ホームページにも掲載されています。

平成30年7月7日(土)

梅雨前線の停滞に伴う大雨により、7月7日の未明、宇土弘誓寺(ぐぜいじ)横の山が土砂崩れを起こし、弘誓寺に通じる道路が土砂で埋まりました。幸い夜間で通行も無く、人的被害は無かったのですが、生活道路が通行止めになりました。当日早朝に地元消防団が駆けつけてくれ、土のうを積んで山からの流れ込む濁流を水路へと排水していただきました。

翌日早朝より、関係者で道路上の土砂の移動を行っていたところ、手の空いている村人が応援に駆けつけてくれ、作業も順調に進み、夕方には車両が何とか走行できるスペースが確保できました。当初は数日はかかると思っていたのですが、地元ならではの助け合いの精神が発揮され、短時間で仮復旧しました。感謝

宇土自治会長



平成30年6月24日(日)

平成30年度篠山市消防団ポンプ操法大会が6月24日篠山市矢代のユニとピアささやまで開催されました。2年に1回の開催で団員796人が見守る中、107人が放水技術を競いました。小型ポンプの部19チームが出場し、優勝は第14分団(西紀南)、7月に県消防学校(三木市)で開かれる県大会に出場します。準優勝は第16分団(味間北)、3位は第11分団(岡野)、

参加者はきびきびとした動作と掛け声で競技をしました。写真は18分団(城南)



平成30年6月11日(月)

城南地区まちづくり協議会は小学校や幼稚園では経験できない社会体験の場所を提供し、子供たちが社会に適応し、社会貢献、生きがいを実感する手助けをしています。

その活動の一つとして6月11日(月)アグリステーション丹波ささやま前の圃場で城南小学校3年生(33名)が黒大豆の種まきを体験しました。まず種まきに入るまでに、黒豆の種がどのように発芽し生育するのか植付けまでの過程について説明を受けました。当日は小雨の天候で作業が危ぶまれましたが、子供たちは急遽素足なり、ヌルヌル感が気持ち良いとはしゃぎながら約1時間での作業となりました。スタッフ指導の下に穴の開いた播種板に一粒一粒種をまき、種まき後播種板を外し、豆が無いところや多すぎるところを修正し、豆を指で土に押しこみました。その後スタッフが覆土シートを被せました。

6月21日(木)には子供たちにより植え付けを予定しています。秋の枝豆の収穫を楽しみの野外授業でした。



平成30年6月22日(金)

城南地区まちづくり協議会は小学校や幼稚園では経験できない社会体験として6月11日に小学校3年生(29人)が黒大豆の種まきをしましたが、第2弾として6月22日(金)に同学年が「アグリステーション丹波ささやま」の前にある圃場に黒大豆の植付けを体験しました。植付ける前に、苗の各部の名前と役割、そして植付けのポイントについてスタッフが説明。今年の苗は発芽歩合も高く、植え付け適期の苗となりました。

今回は2人がペアで、1人当たり20本をバケツに入れ、畝ごとに分かれ、50cm間隔に穴を掘り植え付けました。ペアによっては競争になり、早く植え付けるペアやゆっくりタイプのペアと様々でしたが、1時間で約7aを植付けることが出来ました。短時間でしたが、この体験が大人になっても良い思い出となり、味覚の秋には黒枝豆の収穫を楽しみにしていました。



平成30年5月26日(土)

城南まち協通常総会がコミセン城南会館で開催されました。松尾会長が挨拶、日ごろのお礼と3年目の加工所への協力依頼及び学校連携の強化を図りたいとの話がありました。来賓として篠山市市民生活部野々村部長、城南小学校足立小・幼教頭、市のサポート職員酒井氏、杉野氏に出席していただきました。代表して篠山市の野々村部長よりご挨拶があり、他地区のまち協の取り組み事例や市名変更にかかる調査報告がありました。本総会は114名の会員で出席者47名、委任状48名で過半数以上の会員出席で総会設立宣言。議長に小稲敏明氏(真南条下)を選任し、7議案が上程され各議案とも慎重に審議し原案通り可決承認されました。

1号議案 平成29年度事業報告(活動報告)について

2号議案 平成29年度会計報告・監査報告について

3号議案 組織・制度の変更について

従来都市農村の交流事業(田植え、稲刈り、生き物調査等)は内容によって取組む部所が異なっていましたが、「まちむら交流部」として新設し取り組むことになりました。

4号議案 役員・組織の承認について

5号議案 規約改正について

現行で総会は役員、各委員等で構成するとなっていました。改正では役員の位置づけが明文化されました。また8部会がまちむら交流部含む11部会になりました。

6号議案 平成30年度事業計画(案)について

7号議案 平成30年度予算(案)について

総会終了後城南児童クラブ活動報告、そして城南自治会長会の西潟会長より閉会の挨拶があり、まち協への積極的協力依頼がありました。総会で感じたことですが、まちづくり協議会は地域住民の成長と発展のための団体であり、地域住民がまち協活動に参加され理解をしてもらうことが重要であると感じました。



平成 30 年 5 月 6 日 (日)

大型連休最終の 5 月 6 日 (日) 神戸市灘区成徳地区から子供たちと父兄などを田植え体験に招待しました。今回は、参加者 91 名 (児童 42 名、大人 39 名) と過去最高の参加者がありました。10 時過ぎに乗用車 6 台、大型バス 1 台でアグリステーションに到着しました。早速着替えて野中集落の大西信令様の田んぼ約 3 アールへ向かいました。子どもたちは靴を脱いで裸足に軍足の靴下を履いて天候に恵まれて暖かくなった田んぼへ入ります。横 1 列に並んで、縄に目印の布を付けたところに苗を植えていきます。はじめに係の人から、苗を 2~3 本ちぎって泥の中へ差し込むコツを教わり一斉に植えていきます。苗がうまく持てない子供たち、植え方が浅くすぐ水に浮いてしまうものなど続出で、最初はどうなることかと心配しましたが、慣れるにしたがって上達し予定の 11 時 30 分にはすべて完了しました。一同疲労感を漂わせながらも植え切ったという達成感で満足そうな様子でした。

12 時頃アグリステーションに戻り、都会の人たちにとっては、大いに楽しみにしていただいている地元の食材をふんだんに取り入れた昼食です。今回のメニューは、たけのご飯のおにぎり、小豆ご飯のおにぎりなどに、黒豆入りコロッケ、竹の子のあえ物、サラダ、そして豚汁などで早朝から調理をしていただきましたが、何せ、100 人分という大量で大変だったようです。

午後の最後の行事は、篠山東雲高校での水の中の生き物観察です。学校の実習田に作られたビオトープでおたまじゃくしや、カエル、ドジョウその他の水生動物を網ですくい水槽に入れます。子供たちは、ズボンやスカートが濡れるのも気にしないで夢中で走り回りはしゃいでいます。同校の田井先生や 4 名の生徒諸君が動物の解説をしてくれ、子どもたちも熱心に質問をし、有意義な時間を持つことができました。

